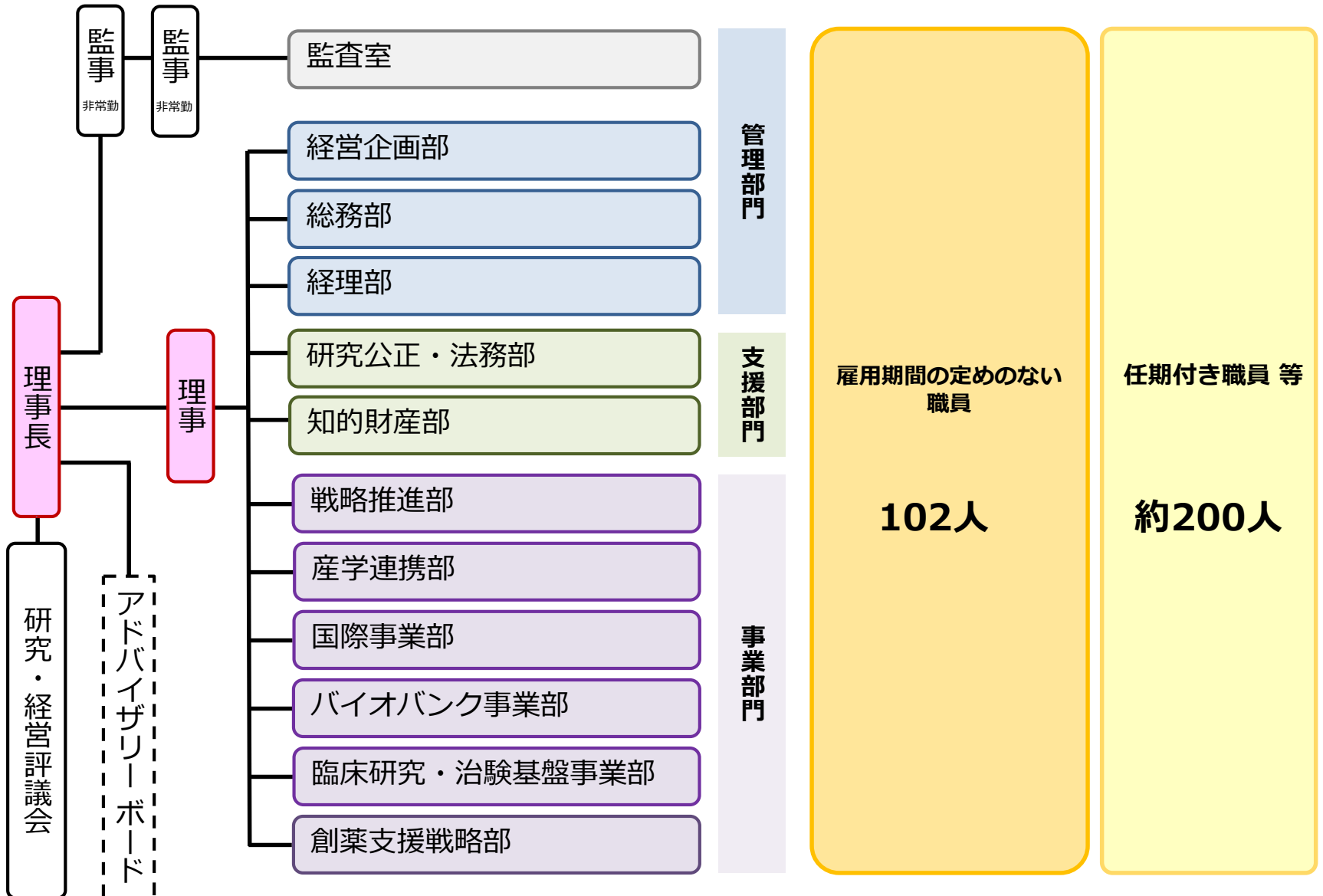


# 日本医療研究開発機構における連携状況

国立研究開発法人日本医療研究開発機構  
理事長 末松誠

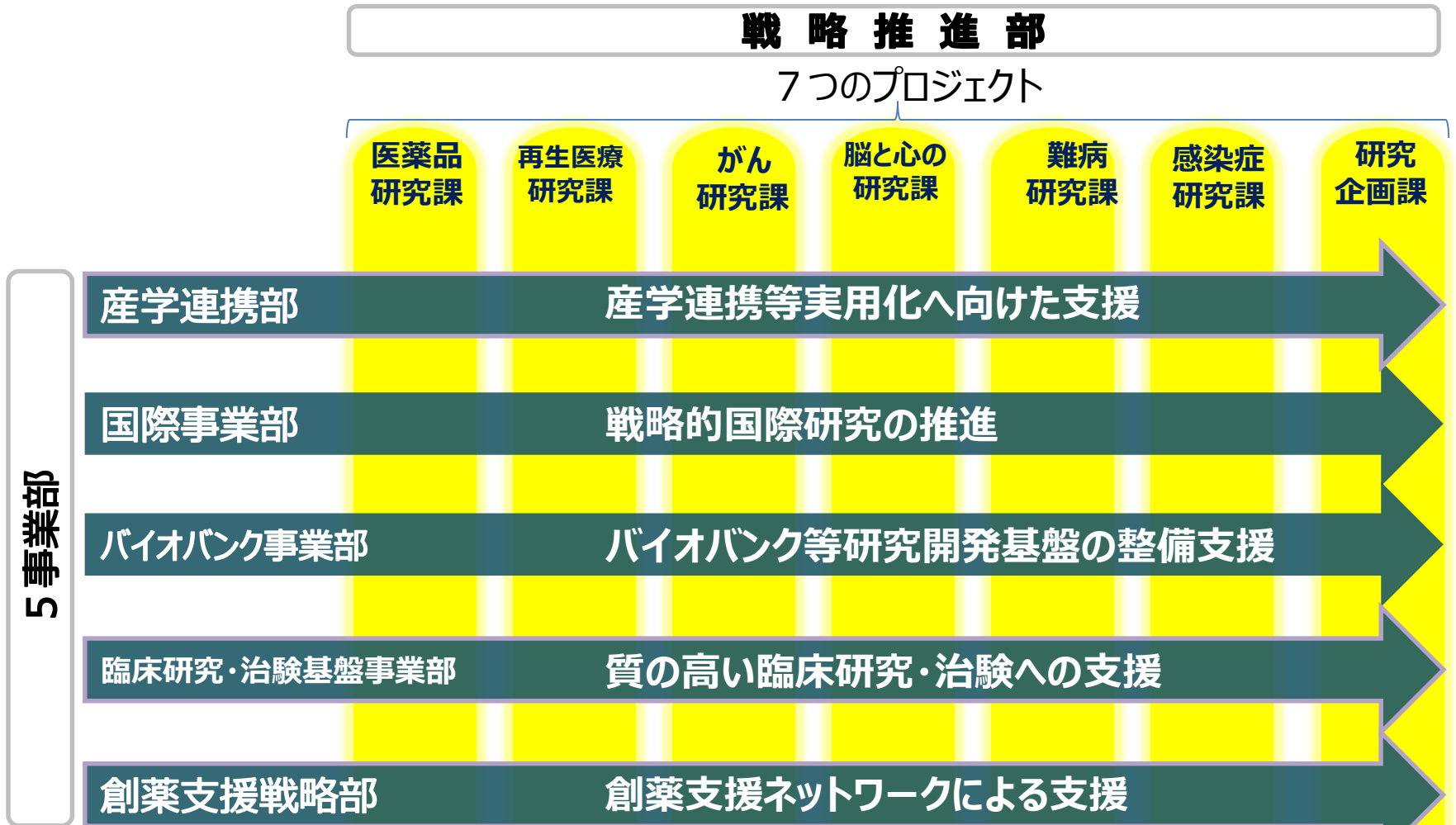
平成27年9月29日

# 日本医療研究開発機構の組織体制



# 戦略推進部と他5事業部との「縦横連携」

7プロジェクトを包含する戦略推進部が他の5事業部との「縦横連携」によって  
 Medical R&Dの全体最適化を目指す

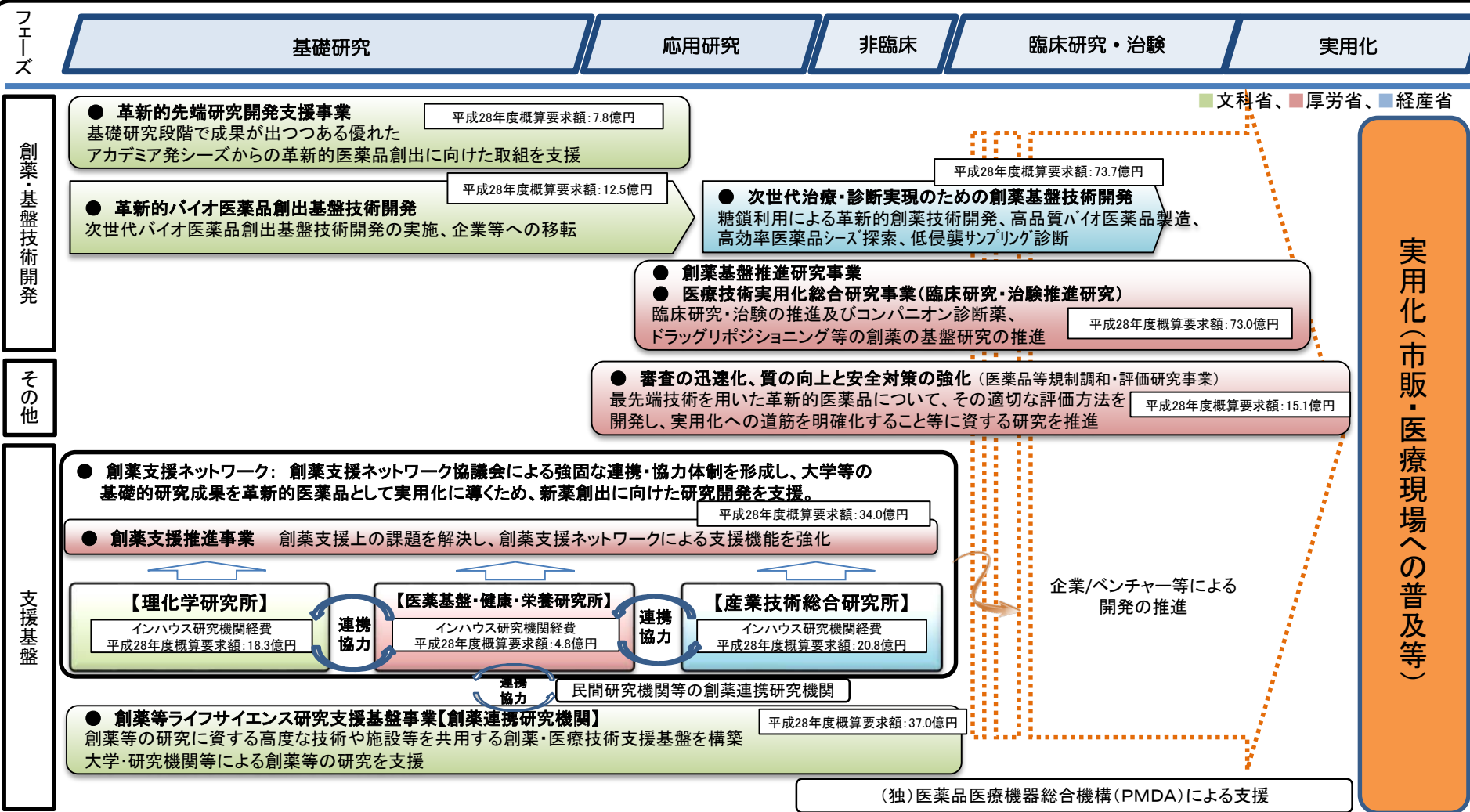


# 1. オールジャパンでの医薬品創出

日本医療研究開発機構対象経費  
平成28年度概算要求額 253億円

インハウス研究機関経費  
平成28年度概算要求額 44億円

創薬支援ネットワークの構築により、大学や産業界と連携しながら、新薬創出に向けた研究開発を支援するとともに、創薬支援のための基盤強化を図る。また、創薬ターゲットの同定に係る研究、創薬の基盤となる技術開発、医療技術の実用化に係る研究を推進し、革新的医薬品及び希少疾患治療薬等の開発を支援する。



## 【2015年度までの達成目標】

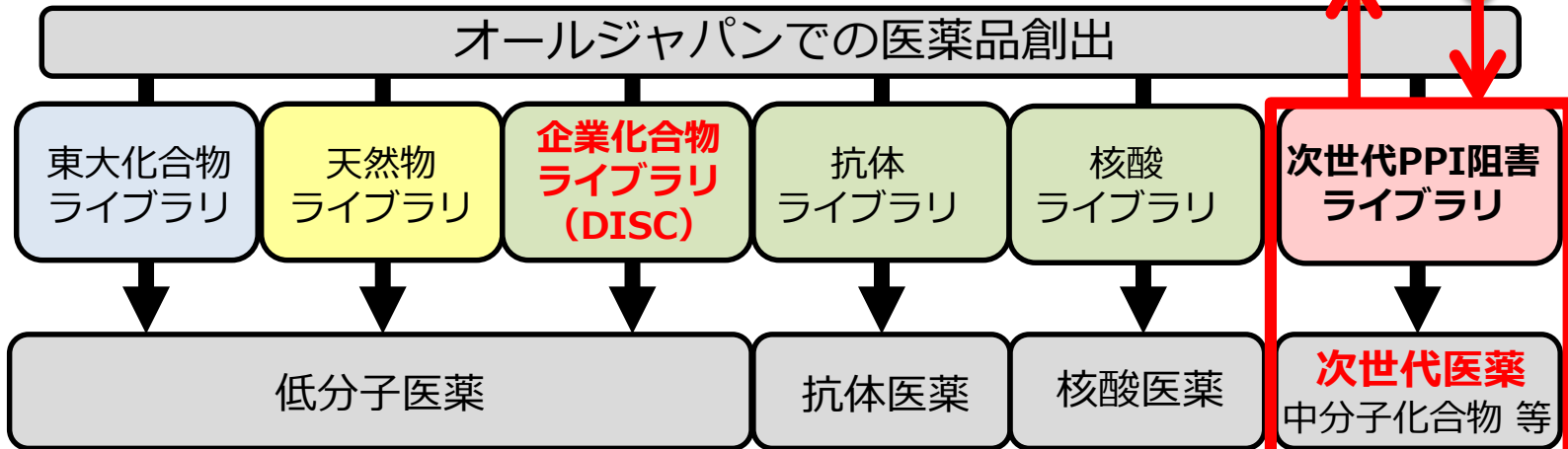
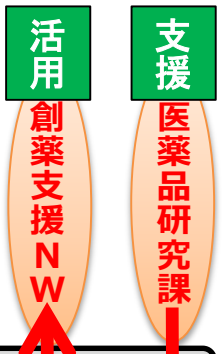
- 相談・シーズ評価 400件
- 有望シーズへの創薬支援 40件
- 企業への導出(ライセンスアウト) 1件

## 【2020年頃までの達成目標】

- 相談・シーズ評価 1500件
- 有望シーズへの創薬支援 200件
- 企業への導出(ライセンスアウト) 5件
- 創薬ターゲットの同定 10個

# 次世代創薬シーズライブラリ構築プロジェクト

次世代医薬	従来の低分子・天然物・抗体医薬の抱える課題を解決できる次世代PPI阻害ライブラリを構築
ベンチャー	次世代PPI阻害ライブラリの構築に当たっては、ベンチャー企業の有するノウハウ・創薬技術を活用
連携施策	ファンディング機能を有する医薬品研究課が次世代PPI阻害ライブラリ構築プロジェクトを公募採択し、構築したライブラリを創薬支援NWが活用



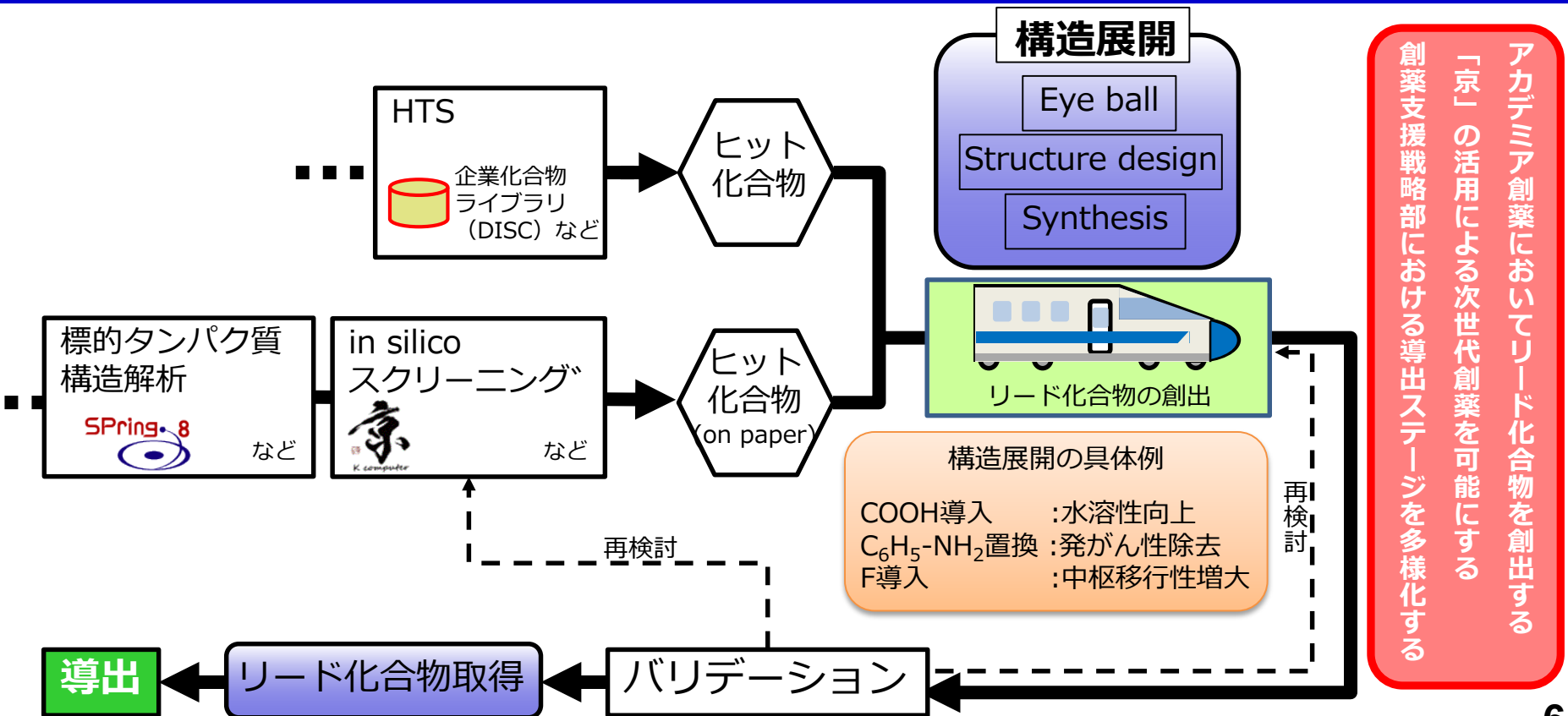
運営主体	東大	AIST	AMED	NIBIOHN	NIBIOHN	AMED
化合物数	21万	30万 (推定)	20万	> 100億	10万	1.5万 (予定)
新規性	主として既知	未知		標的により未知	主として未知	未知
主な課題	PPI阻害に不適	最適化が困難	PPI阻害に不適	膜透過性がない	薬物送達の克服	特殊な合成技術

従来の低分子・天然物・抗体医薬等が抱えていた課題を解決

1. PPI (Protein-Protein Interaction : タンパク質-タンパク質相互作用)
2. DISC (Drug discovery Innovation & Screening Consortium : 産学協働スクリーニングコンソーシアム)

# 構造展開プロジェクト

- 大学等における優れた研究成果を医薬品としての実用化に結びつけるために、創薬支援戦略部は創薬支援ネットワークの本部機能として、創薬支援ネットワーク構成機関、大学、CRO等の有するノウハウを活用しつつ、医薬品開発を進めているところ。
- 革新的医薬品の創出確率をさらに向上させるため、①eye ball（合成可否・有用性の見極め）、②structure design（構造展開）、③synthesis（合成）からなる**構造展開**を一体的に行えるようにする。



# 「AMED他事業と創薬支援ネットワークの連携」と今後の課題

## I. 研究費の柔軟な利用の拡大による、シーズ創出のための基礎研究の強化

- 新たな有望シーズ創出のための基礎研究活性化と研究費の効果的運用
- ⇒ 「研究費の機能的運用について (Version1)」  
([http://www.amed.go.jp/content/files/jp/youshiki/other/kenkyuhi\\_kinoutekiunyo.pdf](http://www.amed.go.jp/content/files/jp/youshiki/other/kenkyuhi_kinoutekiunyo.pdf))

## II. 他事業で選ばれなかった研究課題のシーズ情報への期待

- AMED内で研究課題に関するデータベースの構築
- AMEDが集積する医薬品開発に係る研究開発課題の情報を創薬支援戦略部と共有し、有望な創薬シーズを効果的かつ効率的に見出す体制の構築

## III. AMEDの医薬品開発に係る研究課題について創薬支援戦略部の支援を積極的に活用できること等を公募要領に明記

- ⇒ 厚生労働省からの移管事業については対応済み
- ⇒ 他事業については順次対応予定
- ◆ 「AMEDが委託する研究開発のうち医薬品開発に係る研究開発課題については、創薬支援戦略部による支援を積極的に活用できることとします。」
- ◆ 「医薬品開発に係る研究開発に申請された研究開発課題（研究開発提案書等）については、選考結果に関わらず、また、『IV. 1. 提案書類の取扱い』の項の記載に関わらず創薬支援戦略部に情報提供を行うこととしていきますのでご承知願います。」